

事務事業名	中小企業者デジタル化推進支援事業	所属部	産業観光部	所属課	商工振興課			
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉	所属G	地域産業支援G	課長名	安部 哲男		
	施策名	(37)商工業の振興	担当者名	金山 佳文	電話番号	0854-40-1052 (内線) 2443		
	目的・対象	商工業事業所(者) 意図 経営の安定・強化を図り、雇用を拡大する。	予算科目	会計	款	大事業	大事業	新型コロナウイルス感染症対策事業
	基本事業	(109)地場企業の経営支援		0:1:3:5:5:0	項目	中事業	中事業	中小企業者デジタル化推進支援事業
目的・対象	市内事業所 意図 経営の安定・強化を図り、売上を伸ばす。	0:5:1:0:0:7	業名	業名				

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
対象事業者	コロナ渦の状況で、DXなど社会変革に向けた取組みが加速化している。その中市内事業者のデジタル化対応を推進・支援する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	デジタル化対応人材育成のためのセミナー、専門家派遣 IT導入補助金として自社ホームページやECサイトの構築、業務効率化・生産性向上のためのITツールの導入等に対し、対象事業費の1/2以内で上限30万円を補助する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
市内事業者のデジタル対応にかかる経費について31事業者に支援した。	単年度事業なので特になし。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 事業実施者数	事業者	-	-	31	-
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
事務費等 530千円 補助額 6,567千円	国庫支出金	千円			7,097	
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円				
	事業費計	千円	0	0	7,097	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	本事業によりコロナ渦での課題となっていた市内事業者のデジタル化対応が図られた。
② 事業実施するうえでの課題	特になし
③ 課題解決に向けた改革改善等	特になし